

第3回 デュッセルドルフ市長から贈られた絵画



中央の白い部分は、フラッシュ撮影により映ったもの

1973年3月9日の新校舎（現在は旧校舎と呼ぶ）落成式場で、デュッセルドルフ市のヴィリー・ベッカー第一市長から伊藤勉初代校長に手渡された GUPIKH 作の油絵である。

この絵にはたまたま 1973～74 年に取り壊された、以前のオーバーカッセル橋が描かれており、現在の同橋と比較するのに貴重な資料でもある。

この絵は新校舎入り口ホールの壁にかけてあり、その寄贈された絵の隣に、偶然ながらほぼ同じ場所付近を描いた樋口善造画伯から寄贈された絵画が掛かっている。



1973年3月9日の新校舎落成式時の写真。

伊藤勉初代校長は、長年同窓会の日本側事務局専従者としてご尽力下さった。